

# スマイル タウン

人が好き **笑顔** がステキな街が好き

2020  
11・12  
月

第310号

みんなでつないだ  
50年  
★★★★★  
日野社会教育センター  
Since 1969



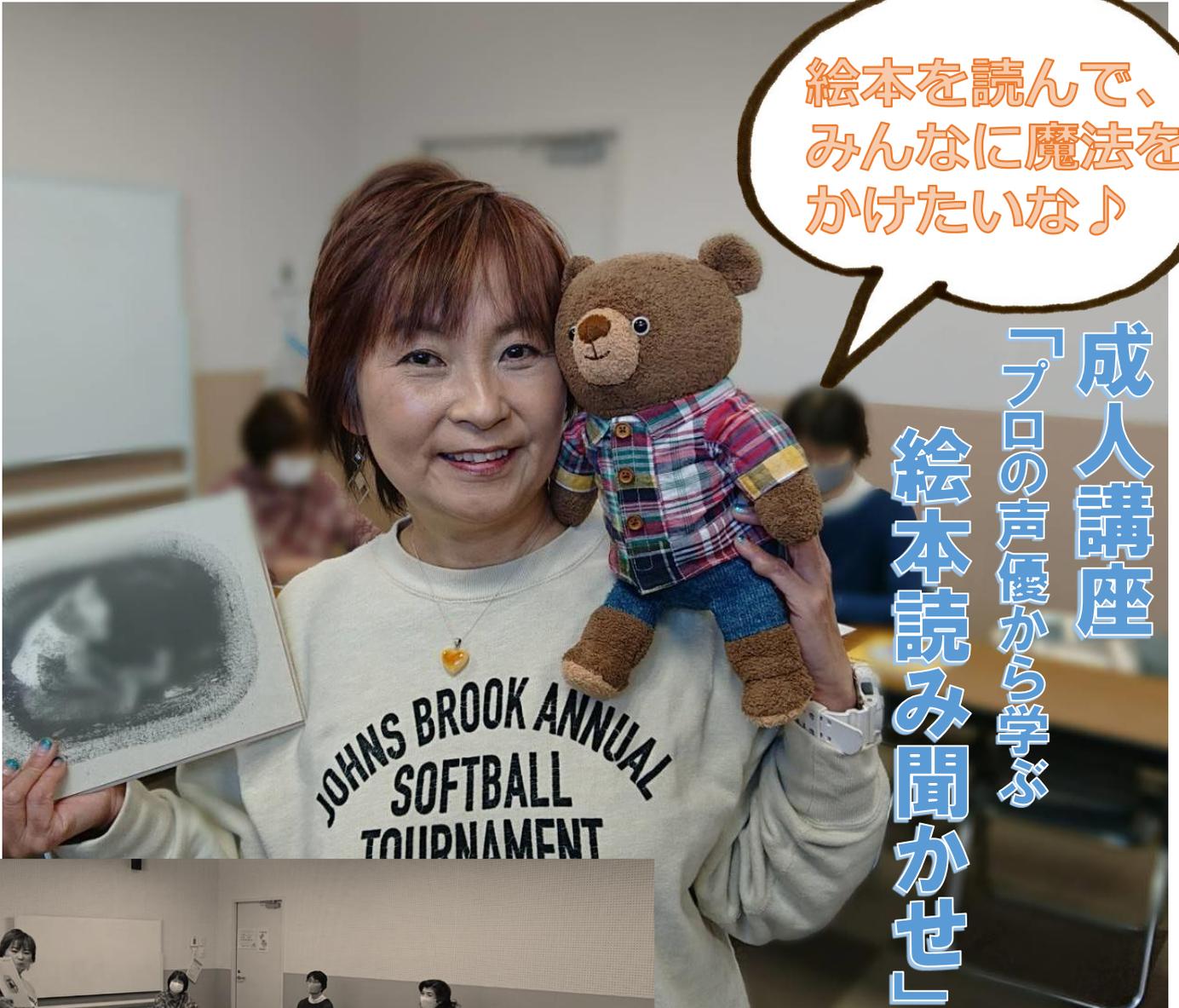
**Uの社会教育センター** は、市民のみなさまの“やりたい”を実現し、「豊かなくらし」を応援する施設として、1969年に日野市と勤社会教育協会が協定書に基づいて設立しました。今月もセンターで生きがいくりをされる沢山の市民の方々の活動をお伝えします。

絵本を読んで、  
みんなに魔法を  
かけたいな♪

成人講座

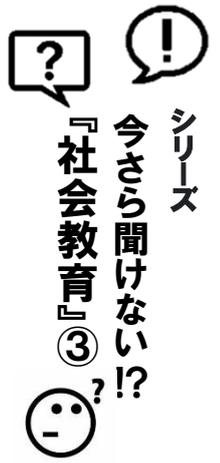
「プロの声優から学ぶ

絵本読み聞かせ」



- シリーズ「今さら聞けない!? 『社会教育』」③
- 表紙の講師は…「プロの声優から学ぶ絵本読み聞かせ」  
講師・森田樹優 先生
- センターからのご案内
- モグモグレシピ・賛助会・寄付お礼

日野市と(公財)社会教育協会が共同で運営する  
**Uの社会教育センター**



シリーズ

今さら聞けない!?

『社会教育』③



### 第3回 『遊ぶ』『遊ぶ』について

第3回対談は、荒井先生と、ひの社会教育センター職員の本江里子と寺田達也です。

寺田：今回のテーマは「遊び」というところからの世界のひろがりについて話していきたいと思います。

荒井：遊びから広がる世界というのは大事で、研究的な言葉でいうと学ぶという事は、遊びときりはなせない。「学ぶ」。でも本来はそうでなく、大人でも子供でも、「学び」がその人にとって、どう意味があるかということ、意味が変わっていく。

次の世代につながる、本人の意欲と結びついていることが本来の学びであり、面白い遊びや文化には本質があるものです。

寺田：そもそも遊びとは何か？改めて考えるとなんでしようね。

荒井：まずは面白くなくては「遊び」ではないですね。

寺田：世界を広げたいと思っても、そのきっかけが「遊び」といわれると、

どう遊んでいいかわからないところがあります。

たとえば、楽しそうなところに足を踏み入れてみると、主体的に自分が動き、次はあれやりたいと進んでいく、自分が「主体的にものを見るプロセス」なのでしょうか。

荒井：そうですね、学ばされたら覚えない、できないことも、「意欲」が前提にあり、やりたいと思つたらできるんです、不思議なことに意欲に基づき体を動かす、その意欲を理解するところから働きかけを始めることが大切です。そこがセンターの力量のみせどころかもしれません。

山本：学校教育でも意欲を引き出すとよくいわれますが、そういわれる理由はなんでしょうか？引き出せないまま終わっているのが現状ですか？

荒井：学校教育では、「意欲。関心。態度」が問われ、子どもたちは言われたからやっているという気持ちになりがちです。教師が本気で子どもに向き合わなければ、子どもには見破られますよね。

山本：現代の問題点かもしれませんが、子どもに「好きなものを自由にさがしておいで」と言っても、出てこない、見つけられない、「何が自由かわからない」という現状があるような気がします。

荒井：一方では社会を渡り歩けることを求め、他方では「好きなものを見つけてごらん」と言っても、大人の言っていることが分裂している、子どももわかるのでしょうか。

山本：何かのための学びじゃなく、好きなことをやっている中から、自分の意見を見出すことが求められますね。

今回のコロナ禍、アニメの世界で見たような、大げさだけど「世界の終わり」みたいな様子を見て、『みんな学びたい、リアルに会いたい』と子どもたちが気付くといいですね。

寺田：「遊ぶことをする」というのは、大人になるとけっこう難しい。なんでもやっつけていいよということとは困るし、意外と難しいことですね。

開設から50年、社会教育の実践機関として位置づけられてきた「ひの社会教育センター」ですが、時代と共に関わる人もまた変化し、3世代を超えて利用されている場所になっています。

時と共に変化することと、変わらないもの。社会教育とは何なのか、社会教育に求められることは何なのか…こうした話題について今年度は、現場で日々活動に向き合う職員と、この分野を専門的にご研究されている東京都立大学(2020年3月までの首都大学東京)の荒井文昭教授との対談をお届けしていきます。

荒井文昭教授 プロフィール 専門研究分野：教育政治研究、教育行政学  
社会教育協会の理事として、協会附属「市民の社会教育研究所」(2019年設立)の準備段階から携わり、現在、同研究所の副所長を務める。

所属 人文社会学部 人間社会学科 教育学教室 ・ 人文科学研究科 人間科学専攻 教育学分野  
研究テーマ

1. 教育政治の研究 (だれが教育を決めてきたのか、だれが決めるべきなのか)、
2. 学校づくりと地域づくり (構造改革下における教育行政の動態調査)、
3. アジア・オセアニアにおける教育自治のあり方



▲対談は、コロナによる影響が出始めたばかりの3月に行いました。





山本…一つの事例ですが、この講座を選ぶとき、「好き」なことと「苦手」なことを二つ選んで入会した60代の女性がいて。自分に「似合わないこと」への挑戦を始めてみたところ、もう何年も続いているんです。

素敵なことに、年代も性別も超えて同じクラスで習っている、10代の男の子から自分の知らなかったジャンルのことを教えてもらったり、と喜ばれているんですよ。

荒井…ひの社会教育センターでないとなり得ない、ほほえましい光景ですね。

寺田…新しいことを始めるのは、おっくうで勇気がいることだけれど、何かをきっかけに「こわいけど踏み込んで、やってみて楽しかった」という経験をしている大人から、子どもに教えられることがあるはずですね。子どもは「行って最悪」だと二度と行かないですからね。

挑戦を進めるプロセスは少しずつ広げていかなければなくて、いきなり限界を超えちゃうと、それまでの心の中の「安心安全ゾーン」までが縮んでしまう。気を付けなければいけないところです。僕らの事業でいうと「初スキーはいいイメージで帰す」が鉄則です。(笑)

「遊び」を簡潔にいうことは難しく、遊びの機会をつくる側の、ストレスコントロールが重要で、世界を広げることも閉じることもあることを知っていないといけないですね。

荒井…利用者のニーズに応えるだけならカルチャーセンターと同じかもしれないませんが、ひの社会教育センターには人間が発達するときに必要な「安心できる何か」がある。振り返ったときに、自分を見ていく存在がいつも居て、戻りたくなれば安心感のある場所に戻れる。そのような「安心感」をつくる努力が、職員に求められるのではないのでしょうか。

寺田…ここに集まる人が安心して遊び(学び)を楽しめるよう努力していききたいです。と同時に「面白がっている」「楽しんでる」その雰囲気や忘れないようにすることは、これからひの社会教育センターにとって大事なことです。



表紙の講師は…

『プロの声優から学ぶ』

講師 森田 樹優 先生

プロフィール

声優・ナレーター  
(株)アクロスエンタテインメント所属  
J・ボイスタレント・プロフェッショナル  
スクール講師。

絵本読み聞かせ講座歴は14年。ホールでの朗読から、カフェのミニライブまで、くまのぬいぐるみリトルQと一緒に、たくさんの方々の場所でみんなを笑顔にしています。

教室の内容

月2回の講座では、まずは、ストレッチや言葉遊びのゲームをしたり、ピアノをつかった発声や、呼吸、滑舌の練習などで心とからだをほぐします。

ひとつの課題絵本を数回にわたり、深く丁寧に読み込んでいきます。そして毎回ひとり一冊、初見で絵本を選び、読み聞かせの実践。

いつも笑顔の森田先生がつくるその空間では、会員さんからも自然と笑顔がこぼれます。



▲森田先生の十八番、『ねぎぼうずのあさたろう』の読み聞かせ

会員さんへの応援メッセージ

休講(コロナの影響)をはさんでも、またこうして会え、継続して来てくれることに「ありがとう!」という感謝の気持ちでいっぱいです。

みなさんには楽しく学んで、自分の声を好きになってほしい。「絵本の読み聞かせ」は難しいことは何もなく、誰にでもできることです。

絵本にははかりきれない奥深さがあります。言葉が平明な分、だからこそ心にぐつとくるのです。

「読み聞かせ」は、作家さんと読者の架け橋になれるような、絵本をとおして、聞いている方へ魔法をかける、そんな想いを伝えていきたいです。



まだまだ先生にきいちゃいました！  
スマイルタウン読者の

「大人におススメしたい絵本は？」

たくさんのおススメの中から、先生が選んだのは、

『ぼくのキョートナ』荒井良二 作

愛しい「キョートナ」へのたくさんの想いがページをめくるごとに「ぼく」からの「ラブレター」で表現されています。

大人がキョートナなる絵本です。



## お知らせ

ひの社会教育センターでは、毎年1月に行っております『新春のつどい』を、新型コロナウイルス感染予防のため、2021年は開催を見合わせます。ご了承ください。

ひの社会教育センターでは、新型コロナウイルスの拡大を予防するため、医療従事者にもアドバイスを受けながら、来館者・参加者の【受入れ基準】を策定しています。

また、来館・参加の際は、下記基準に全てチェックが入る状態でご来館、ご参加ください。感染拡大予防のため、お互いの安心安全のため、みなさまのご協力をよろしくお願いいたします。

### 【受入れ基準】

- 飛沫を予防するためのマスクを各自用意できる
- 利用者の居住市区町村が「流行地域」ではない（市区町村レベル）
- 利用者は過去7日間にわたり、毎日検温を実施しており、いずれも37.5℃を超えていない
- 息苦しさ（呼吸困難）、強いだるさ、軽度であっても咳・咽頭痛などの症状がない
- 同居家族または接触者に過去7日間にわたり上記の症状を発する人がいない
- 同居家族または接触者に過去14日間にわたり新型コロナウイルス陽性者がいない

上記基準をクリアしたうえで、コロナ対策のご協力をお願いします

- マスク着用 ※お忘れの方は1F受付で販売しております
- 丁寧な手洗い
- 室内換気
- 3密（密集・密接・密閉）の回避

いっしょにがんばりましょう！



日野社会教育センターが市より受託運営している、百草の子育て支援カフェ『モグモグ』の大人気レシピをご紹介します！ご家庭でもチャレンジしてみてくださいね

『モグモグ』では日替わりランチ¥570、こどもランチ¥160で提供しています。コーヒーなどのドリンクも¥100～¥130と、とってもリーズナブル

### 第7回 メニュー紹介！

#### 『チキンときのこの味噌クリーム煮』

冬はお鍋であたまりたい…ですが、小さい子がいると食べづらいのも本音。このメニューなら、「豆乳×みそ」であたまること間違いなしですね！

- <材料> 2~3人分
- ・鶏モモ肉 2枚
  - ・きのこ（マッシュルーム、しめじ）1パック
  - ・塩胡椒 小 1/4
  - ・小麦粉 大 2
  - ・オリーブ油 小 2
  - ・水 1/4 カップ
  - ・豆乳 200ml
  - ・味噌 小 2

#### つくりかた

- ①鶏モモ肉は4等分に切って、塩胡椒、小麦粉をまぶす
- ②きのこは食べやすい大きさに切る
- ③オリーブ油をひいたフライパンに鶏肉を入れて皮目から焼く(3分)、裏返して2分。その間にきのこを炒める
- ④きのこに火が通ったら水を加え、ふたをして5分

- ⑤豆乳を加え混ぜ、味噌を入れて温まったら火を止める

★できあがり★

#### ポイント

- ・温めすぎると豆乳が分離するのでほどほどに。
- ・仕上げにバターを少しいれるとコクがたまよ。



### 賛助会へのご協力 ありがとうございます

★順不同・敬称略

- ①個人会員 1口 1,000円  
長井節子 10口 土方フミ子 3口 坂口陽子 3口  
山田チエ子 10口 相澤恵子 3口  
松永義希・伸子 10口 安藤秀雄 5口  
平川トメ子 10口 種婦建夫・千代子 3口  
柿田雅子 129口 西野正人 1口
- ②団体会員 1口 5,000円  
矢千代会 4口 中村淑子バレエ教室 6口

### 新館建設寄付者ご芳名

9/1~10/31 ご寄付いただいた方(順不同・敬称略)

ひのりす会

※ご希望によりお載せていない方もおられます。

たくさんの募金  
ありがとうございます。  
ごさいます。



募金総額 10/31 現在  
410名+募金箱

¥24,840,163-